

保団連夏季セミナー参加記

活発な意見交換が行われた有意義なセミナー

保団連が主催する、第 55 回保団連夏季セミナーは 8 月 1 日、2 日にわたって東京都千代田区平河町都市センターホテルで開催された。全国から参集した 263 名と web 参加の 88 名、合計 351 名が参加した。

初日は、天谷静雄保団連副会長が「国民の命、健康、暮らしを守り、医療・社会保障の充実を」というテーマで基調提案を行った。その後、中小企業家同友会全国協議会会長で株式会社ヒロハマ会長の廣濱泰久氏の良い会社、良い経営者、良い経営環境を目指す。中小企業家同友会の学びと実践「私と中同協が歩んだ道」と題した記念講演があった。氏の実際に行っている事例に基づいた講演に感銘を受けた参加者が多かったのではなかろうか。

2 日目では講座Ⅰ、「財政民主主義で国民皆保険を守るか」講師：掛貝祐太氏（茨城大学人文社会科学部准教授）。講座Ⅱ「高市政権の目指す憲法改正と高市総理の憲法観・政治姿勢など」講師：高橋純子氏（朝日新聞編集委員）。講座Ⅲ「女性初首相の誕生で、日本のジェンダー平等は進んだのか？」講師：武田裕子氏（名古屋大学大学院教授）。講座Ⅳ「2026 年度歯科診療報酬改定について」講師：田辺隆氏（保団連副会長）が務めた。いずれの講座も熱心な参加者が集まり、活発な意見交換が行われた。参加者にとっ

メディアは権力監視の役割果たせ

8 月 1、2 日の 2 日間にわたり第 55 回保団連夏季セミナーが開催され、2 日目は 4 講座・シンポジウムが行われ、講座 2 ではメディアに登場してコメンテーターとしても活躍している朝日新聞の高橋純子氏の「高市政権の目指す憲法改正と高市総理の憲法観・政治姿勢など」と題する講演が企画された。朝日新聞編集委員である高橋氏は高市首相の政治姿勢への指摘として、大災害が起きている中で、なぜ、消費税減税のことしか話さないのか。国民の生活をかえりみず、皇室典範、国旗損壊罪などばかり話題にしている民主主義をないがしろにする政治には違和感を国民は持っている。

このような危険が迫っている時に日本のメディア業界は、政治が的確に機能しているか監視する役目（ウォッチドッグ）を果たせていない。高市首相は SNS 発信していると言っているが、これは記者会見とは全く違う、一方的で、政府の広報である大本営発表である。

今までは、記者会見でメディアを使って発信するしかなかった。高橋氏は以前、総理番の仕事についていたが、一日 2 ～ 3 回は首相の生の声を聞く機会があった。首相動静が掲載されるが、そのときに聞いたことを記者は記憶して伝えるというのが慣習だった。

ジャーナリズムとは、権力監視のための存在であり、権力と仲良くなっていくのはおかしい。SNS でクリックしてもらうためにインフルエンサーを使ったりするのは邪道である。現在の会見は茶番である。事前に質問をして答えを用意して読むだけである。高市氏は議論や批判に対しては、ある種の権威主義も相まってタイパ・コスパが悪いと感じている。権威というのは圧倒的な力を持ち、生かすも殺すも政策次第といった傾向があるが、この現状では権力は腐敗し、暴走して失敗する。第二次大戦で、ひどい犠牲が出た当時と同じような状態になっていると心配している。プレーキの一つがウォッチドッグ（番犬）の役割であるジャーナリズムの役目であると説明した。

講演の最後に高橋氏は、民主主義というものは、多数決原理だけではなく、様々な意見をとりあげ、議論をすることによって成り立っている。この国には、プレーキがない。国会議論ないがしろにされ、暴走している。「野党反発」というのもおかしい。他国では、むしろ野党は積極的な意味を持っている。また、街頭にでて声をあげる、署名をする、という保団連の活動も大切であると評価していた。以上、高橋氏の協会活動への示唆に富む講演であった。

今回の講座で特筆すべきは、質疑応答の時間で、医学部の 6 年生から「現在、メディアも自信を失っている。皇室典範にしても、大手新聞社が批判したのに結局無理やり通ってしまった。メディアもしっかり役割を果たしていくことが大切である」と、民主主義の根本についての質問があり、学生が参加していることにも驚いたが、内容の質の高さに驚いた。（副会長 宮沢 裕夫）

「保険でより良い歯科医療を」長野連絡会主催の「歯のなんでも電話相談」を 7 月 19 日（日）10 ～ 14 時に実施した。地域新聞の紹介記事等を見た 11 名の県民からの相談には、県保険医協会役員の歯科医師 5 名が対応した。以下、相談内容を紹介する。

◆希望していないのに総義歯にされた
前歯がぐらぐらするので歯科を受診した。問診票に「悪いところは全部抜いて直して欲しい」と記載したところ、担当医は「こんな事を書いた患者はあなたが初めてだ」と言いながら、その日のうちに上顎を全て抜歯されて総義歯になった。自分は「ぐらぐらする前歯を全部抜いて」という意味で書いたのであって、総義歯にして欲しい訳ではなかった。（50 代・女性）

◆抜歯後の喉の痛み
右上 7 番抜歯後、唾液を飲むと喉が痛む。また、抜歯後の治療について相談したい。（50 代・女性）

◆受診できるか心配
本人について：口が開かない。顎が外れる。痛みはない。歯科医院に受診できるか心配。配偶者について：歯の欠損あり。2 年前に部分入れ歯を作ったが合わない。痛くなり使わなくなった。インプラントが最適か？（50 代・女性）

◆インプラントで高額請求
昔からお世話になっている歯科医院に右下奥歯が痛くて歯科を受診した。抜歯をした後、2 本インプラントを入れてもらい、その後で高額な請求があった。もちろん支払いましたが、この流れはよくあるものなので

着までいかない。年齢も考

◆治療中に救急搬送
虫歯の治療をしたら気分が悪くなり救急車で運ばれた。その後、その診療所では診られないと言われ、口腔外科に紹介され、治療を行った。しかし、その後また歯が痛くなり元の診療所に行っても診られないと言われ、別の歯科医院に行ったらが予約が先になり、すぐに診てもらえなかった。このまま待っていてもいいか。（60 代・男性）

◆よく診てもらえない
歯が欠けた（詰め物が取れた）。入れ歯が合わない。通院している歯科医院ではよく診てくれない。どこか紹介してほしい。（70 代・男性）

◆冠の治療に 2 カ月以上かかると言われた
右上の大白歯の冠の治療について、治療期間が 2 カ月以上かかると言われた。どうしてか？（60 代・男性）

◆話を聞いてもらえない
ヤグレーザーについて質問したい。このところ何となく歯茎が下がっているような気がする。自分はどうも口の健康に気をつけており、絶対に歯を失うことは避けたいので、歯茎下がりにレーザーが有効なのであれば、そういう治療も考えているのだが有効なのか？現在右上 2 番に CAD 冠を仮止めているが、それがあまり良くないので担当医に何度か修正をしてもらっているが、この間は歯の間の隙間が気になると伝えると、スーパードボンドで歯の間を盛り上げて CAD 冠を戻されたので、フロスを使用したらガリガリガリッ